

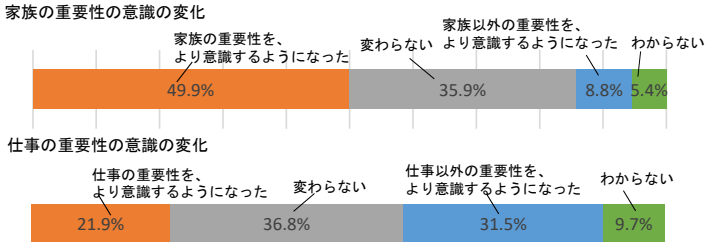
新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査

- インターネット調査により5月25日～6月5日に実施。全国の15歳以上の登録モニター10,128人から回答。
- 感染症影響下において、家族の重要性をより意識したり、地方移住への関心が高まる等、意識の変化がみられる。
- 就業者の3人に1人がテレワークを経験したが、さらなる利用拡大には、仕事の仕方の見直しなどが課題。
- 子育て世帯の約7割で家族と過ごす時間が増加。夫婦間の家事・育児の役割分担を工夫する動きがみられる。

[共通質問]

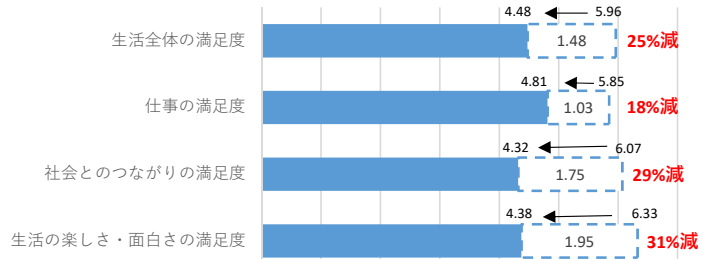
家族・仕事の重要性に関する意識の変化

→家族の重要性をより意識するようになった人が49.9%



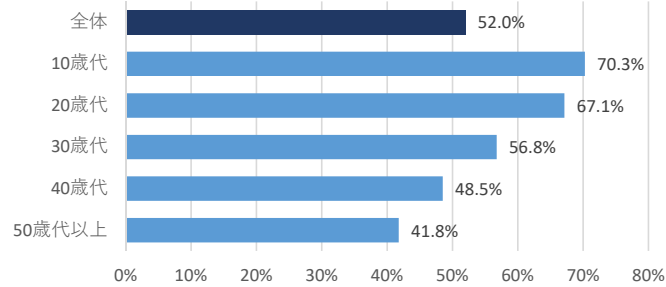
生活満足度（「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とする）

→感染症拡大前比べて生活満足度は1.48pt（25%）低下



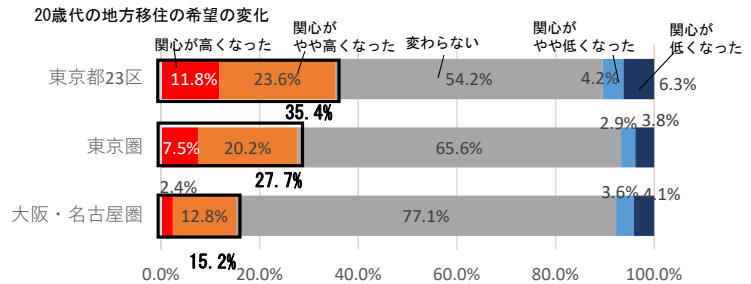
新しいことへの挑戦や取組

→52.0%が実施



20歳代の地方移住の希望の変化

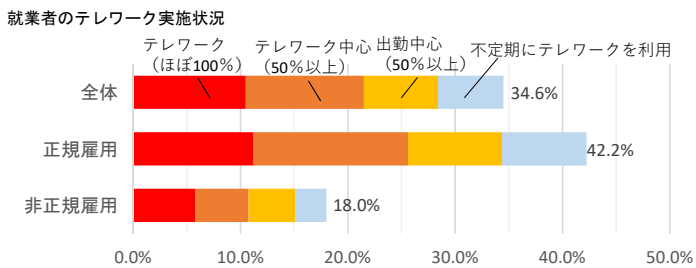
→東京都23区では35.4%が地方移住への関心が高まっている



[就業者]

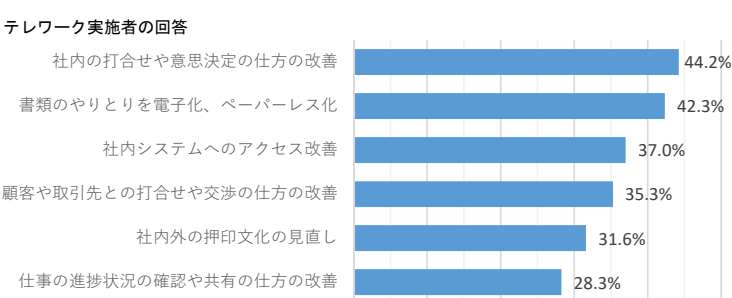
テレワーク実施状況

→就職者の34.6%がテレワークを経験



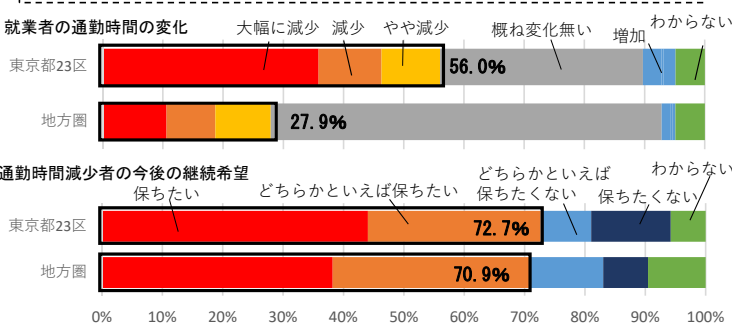
テレワーク利用拡大が進むための課題

→社内打合わせの見直し、ペーパーレス化などが課題



通勤時間の変化

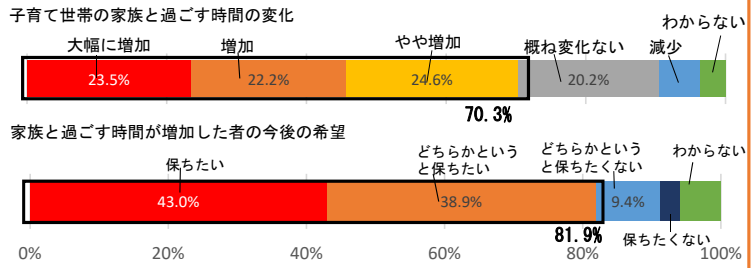
→通勤時間が減少した人の7割超が今後の継続希望



[子育て世帯]

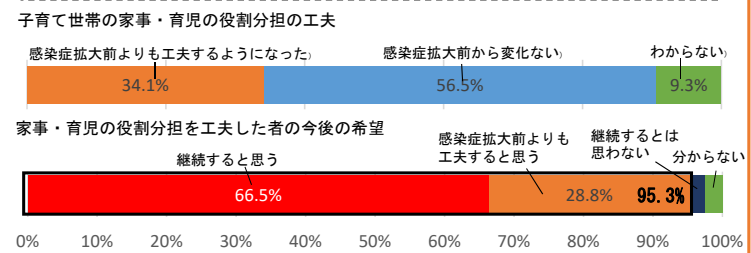
家族と過ごす時間の変化

→70.3%が家族との時間が増加、うち81.9%が今後も保ちたいと回答



家事・育児の役割分担の工夫

→34.1%が役割分担を工夫、うち95.3%は今後も工夫すると回答



[60歳以上]

人との交流・ビデオ通話の利用希望

→使い方が分からず、ビデオ通話を利用したことのない人の60.6%が今後は利用したい、との回答

